

## シリアのアラブ連盟復帰（529号）

2023年 6月 石館

アラブ連盟は6月19日、サウジアラビアの西部のジェッダで首脳会議を開いた。7日に連盟への12年ぶりの復帰が決まったばかりのシリアのアサド大統領が出席し、アラブ連盟の融和と結束を強調する。会議ではシリア内戦への対応や、軍と準軍事組織の衝突が続くスーダン情勢などを協議した模様だ。



サウジアラビア西部ジェッダでムハンマド・ビン・サルマン皇太子(左)に歓迎されるシリアのアサド大統領(19日)

連盟復帰によりアラブ諸国からの経済制裁が解除され、シリアは内戦からの復興資金を調達出来るようになる可能性がある。

一体シリアは何故アラブ連盟からボイコットされ、長い間内戦が続いているのであろうか。2011年東日本大震災が日本を揺るがせていた時、シリアでは中東諸国で起きた“アラブの春”が波及、民主化を求めて立ち上がる人々が現れた。

それまで40年にわたり、独裁政権が続いていたシリア。壁に反政府の落書きをした少年たちの逮捕と拷問をきっかけに、抗議デモが瞬く間に各地で広がった。政府は平和的なデモを武力で鎮圧しようとしたため、抵抗する市民らも次第に武装化し、内戦状態に陥っていった。

内戦はその後、様々な国がそれぞれに異なる目的で介入し、混迷を深めていった。トルコやサウジアラビア、米国などの国々は政権打倒を目指す反体制派を支持する一方で、現状維持を望むイラン、ロシア、中国はシリア政府を支援、201

シリアのアラブ連盟復帰は、中東の緊張緩和を象徴する動きだ。

自由や人権といったイデオロギーよりも実利を重視し、各国が連携しようとする流れが出来ている。

2年には戦闘が全土に拡大し、政府や多数の武装勢力、そして諸外国の思惑が錯綜する中、終結をつけることはもはや困難となった。

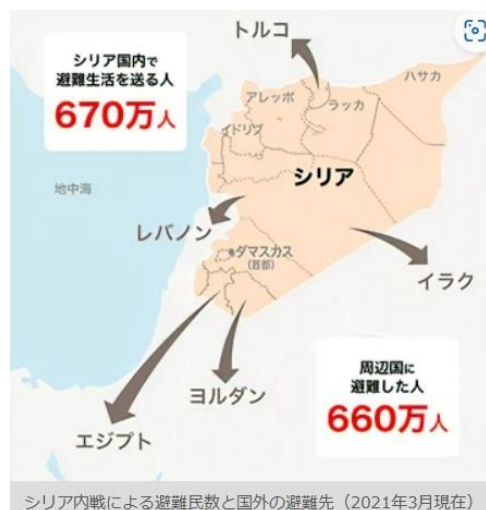
さらに2013年頃からは、“イスラム国”などの過激派組織が台頭、政治の空白を埋める形で北部ラッカなどを掌握、各国は対テロ戦争の名の下、軍の部隊を派遣した。戦争は更に泥沼化し、代理戦争の模様を帯びるようになった。



破壊されたシリアの街並み

2011年以降、戦火や迫害から逃れるために自宅を追われたシリア人は1300万人以上と言われる。内戦前の人口の半数以上にあたる。

国内で避難する人の数は670万人で、その多くが先行きの見えない、不安定なキャンプ生活を余儀なくされている。



残りの660万人のシリア人は、主にトルコやレバノンなどの周辺国で難民となり、そのうち7割以上の人が国際貧困ライン以下の生活をしているとされている。さらに2020年以降は、経済危機と新型コロナウイルスの感染拡大がシリア全土を覆い、これらの深刻な影響を続いている。

このような悲惨な内戦状態にあったシリアがアラブ連盟に12年ぶりに復帰することになり、このことが本当にシリアの平和と安定につながるのでしょうか。真にシリア国民のためというより、アラブ連盟の結束を示す、外交的なショーではないか。アラブ連盟は対立してきたアサド氏を首脳会議に招くことで、アラブ諸国の結束の強さを誇示する。

シリア内戦やスーダンでの衝突などの問題を域内で解決する姿勢を示す狙いもある。アラブ諸国がシリア復興のため、欧米によるシリア制裁の緩和を求めているとしている。



アラブ連盟首脳会議

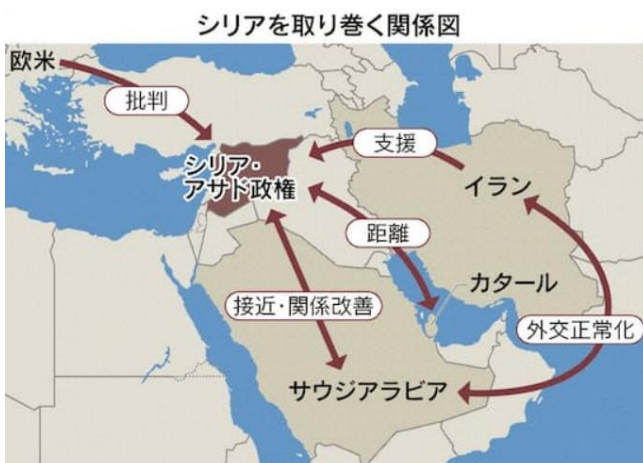
アサド氏にとってはアラブ連盟首脳会議が国際社会での孤立から脱却をアピールする格好の舞台となる。

アラブ諸国との和解を演出し、アサド政権との関与

を拒む欧米を揺さぶる狙いもありそうだ。

シリア内戦ではイランが支援するアサド政権をアラブ諸国が批判。同政権が反体制派を弾圧したことで、サウジやアラブ首長国連邦 (UAE) は欧米と同調して反体制派の支援に回った。アラブ連盟は2011年シリアの参加資格を停止した。

その後アサド政権は15年のロシアの軍事介入などによって主要地域を抑え、内戦で事実上の優位を固めた。UAEなどは同政権との関係修復に舵を切り、22年にはアサド氏がアブダビを訪問。23年にもUAEやオマーンを訪問した。



3月にはアサド政権の後ろ盾だったイランがサウジとの外交正常化を発表。サウジはアサド政権との関係改善を進める方針に転換し、4月に国交正常化で合意した。

一方アラブ諸国内ではシリアの

反体制派との関係が強いとされるカタールは、アサド政権の連盟復帰に反対していたとされる。シリアのアラブ連盟復帰には必ずしも一枚岩でない。

トーマン以前からはシリアにはかなり食い込んでおり、同国の発電所建設では30年以上前三菱重工を組んで3か所建設した。当時は大規模な内戦もなく、独裁体制の下、国は比較的落ち着いていた。ある時シリアの秘密警察の長官が来日し、小生と一緒に食事をしたことがある。

その時私個人の行動を調査したかなり厚いファイルを見せられた。随分エジプトとは関係が深いですねとか、女性関係はファイルにはありませんと笑いながら言っていたことを思い出す。当時の独裁体制はシリアに関係のある私程度の人間まで調査していたことが伺われた。